

平成 27 年度

事業報告書

社会福祉法人 南 幌 苑
障がい者支援施設 南幌めぐみ学園
共同生活援助・共同生活介護 ハイツ ひまわり

— 目 次 —

- ・ 社会福祉法人南幌苑本部 P 1 ~ 8
- ・ 南幌めぐみ学園 P 9 ~ 12
- ・ GHハイツひまわり P13 ~ 15
- ・ 関係資料 P16 ~ 31

1. 法人の事業運営

平成 27 年 4 月の障がい福祉サービス等の報酬改定により、福祉・介護職員処遇改善加算の拡充、福祉専門職員配置等加算の見直し、また、施設入所支援においては重度障がい者支援加算の見直しがあり、福祉資格取得職員・養成研修受講職員配置や重度障がい者への適切な支援による加算体制となるが、当施設においては各加算体制に対応して事業活動並びに関係各予算の執行については、事業計画に基づき実行に移され円滑かつ有意義に所期の目的を達成する事が出来た。

法人の経営理念を基本に、各事業所をご利用される方々のニーズに応え、「選ばれる質の高いサービス」の提供を目指し、また、平成 28 年度以降の社会福祉法等の一部改正に伴う経営組織の在り方について研修参加、情報収集により準備をして法人事業の適正な経営に努めた。

「障がい者虐待防止法」が施行されてから 3 年が経過したが、全国的に障がい者への虐待に係る報道が止まることなく続き、当法人でもご利用者への支援の充実のため、職員研修として講演会の開催や社会福祉協議会や道内外の知的障がい関係団体の開催する多くの外部研修への参加、法人内施設研修の実施等、職員の意識の向上、スキルアップに努めた。また、ご家族、職員がご利用者の幸せを目指すという共通願いのもと、めぐみ会、めぐみ学園合同の研修会を開催した。

役員研修として、先駆的な経営を行っている社会福祉法人ことの海会 障がい者支援施設鈴田の里学園を視察し、就労支援における事業の展開や経営について学んできた。

今後も、法人として地域住民やご利用者、ご家族から親しまれる地域に根付いた法人であることを目指し、確実な事業展開を行い、より一層良い環境づくりに努める。

・重点事業実施状況

1) 役員研修

○法人役員視察研修

平成 27 年 10 月 28～31 日 役員 6 名

長崎県 社会福祉法人 ことの海会

障がい者支援施設 鈴田の里学園

2) 職員研修

○施設内研修

・平成 27 年 4 月 25 日

講演「虐待防止及び権利擁護について」

講師 北海道知的障がい福祉協会 副会長 上坂 隆一氏

・平成 27 年 6 月 9 日 救急救命講習

講師 南幌消防署員 2 名 全職員

・平成 27 年 6 月 27 日

講演「事故を未然に防ぐ為の考察」

講師 北海道保険補償 代表取締役 石山 忠氏

・平成 27 年 11 月 9. 11. 13 日 感染症予防実技研修会（演習）

・平成 27 年 11 月 22 日 めぐみ会・めぐみ学園合同研修会

講演Ⅰ「知的障がいの終の住処と入所施設の役割」

講師 北海道知的障がい福祉協会 副会長 上坂隆一氏

講演Ⅱ「日本知的障害者福祉協会と国の動向」

講師 日本知的障害者福祉協会 会長 橘 文也氏

○施設外研修

北海道社会福祉協議会や道内外の知的障がい関係団体が開催する研修会等に参加し、職員の資質向上に努めた。

3) 規程等の制定・改正

- ・就業規程 … 平成 27 年 4 月・平成 28 年 3 月一部改正
- ・文書処理規程 … 平成 27 年 7 月制定
- ・運営規程 … 平成 27 年 10 月・平成 28 年 3 月一部改正
- ・特定個人情報取扱規程 … 平成 27 年 10 月制定

4) 大規模修繕工事

- ・かよえ～る屋根塗装工事
- ・めぐみ学園トップライト補修工事

5) 職員採用及び退職

・採用

平成 27 年 4 月 支援職員（嘱託）3 名（1 名再雇用）
事務職員（正規）1 名、（嘱託）1 名
看護師（正規）1 名

平成 27 年 7 月 支援職員（パート）1 名

平成 27 年 9 月 支援職員（正規）1 名

平成 27 年 11 月 支援職員（正規）1 名

・退職

平成 27 年 7 月 支援職員（正規）2 名

平成 27 年 3 月 支援職員（正規）1 名

・実施事業

○障がい者支援施設南幌めぐみ学園

定員	施設入所支援事業	50名	(現員49名)
	生活介護支援事業	60名	(現員56名)
	就労継続支援B型	10名	(現員7名)

○短期入所事業（併設） 定員 5名

○共同生活援助・共同生活介護事業所 ハイッひまわり

定員 5名

○日中一時支援事業 定員 5名

2. 理事会・評議員会の開催及び監査の実施状況

平成 27 年度においては理事会 6 回、評議員会を 3 回開催し、監事による実施監査を 4 回受けた。

1) 理事会

開催年月日	会議内容
平成 27 年 5 月 26 日	<p>第 165 回理事会</p> <p>1. 議事</p> <p>議案第 1 号 平成 26 年度法人及び施設事業報告について</p> <p>議案第 2 号 平成 26 年度社会福祉事業会計の決算報告について</p> <p>議案第 3 号 社会福祉法人南幌苑就業規則の一部改正について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>1) 平成 26 年度第 4 回内部監査（決算）の結果報告について</p> <p>3. その他</p> <p>1) 次期理事会の開催日程について</p>
7 月 24 日	<p>第 166 回理事会</p> <p>1. 議事</p> <p>議案第 1 号 社会福祉法人南幌苑文書処理規程の制定について</p> <p>議案第 2 号 2015 年度日本財団福祉車両助成事業申請について</p> <p>議案第 3 号 表彰被候補者の推薦について</p> <p>議案第 4 号 消防設備等の整備について</p> <p>議案第 5 号 役員視察研修について</p> <p>議案第 6 号 職員の退職について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>1) 平成 27 年度第 1 回内部監査（6 月末）の結果報告について</p> <p>3. その他</p> <p>1) 次期理事会の開催日程について</p>
9 月 3 日	<p>第 167 回理事会</p> <p>1. 議事</p> <p>議案第 1 号 職員採用について</p> <p>議案第 2 号 社会福祉法人南幌苑評議員の選任について</p>

開催年月日	会 議 内 容
平成 27 年 9 月 3 日	<p>議案第 3 号 社会福祉法人南幌苑役員（理事・監事）の選任について</p> <p>2. その他</p> <p>1) 次期理事会の開催日程について</p>
平成 27 年 10 月 2 日	<p>第 168 回理事会</p> <p>1. 議事</p> <p>議案第 1 号 職員採用について</p> <p>議案第 2 号 社会福祉法人南幌苑役員（理事・監事）の選任について</p> <p>議案第 3 号 社会福祉法人南幌苑理事長及び副理事長の選任について</p> <p>議案第 4 号 社会福祉法人南幌苑相談役の選任について</p> <p>議案第 5 号 特定個人情報取扱規程の制定について</p> <p>議案第 6 号 社会福祉法人南幌苑事業別運営規程の一部変更について</p> <p>議案第 7 号 平成 28 年度 J K A 補助事業車両申請書の提出について</p> <p>議案第 8 号 南幌めぐみ学園トップライト補修工事について</p> <p>2. その他</p> <p>1) 次期理事会の開催日程について</p>
12 月 22 日	<p>第 169 回理事会</p> <p>1. 議事</p> <p>議案第 1 号 ハイツひまわり外壁塗装改修工事について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>1) 2015 年度日本財団福祉車両助成事業申請結果について</p> <p>2) 平成 27 年度第 2 回（9 月末）内部監査結果報告について</p> <p>3. 次期理事会の開催日程について</p>
平成 28 年 3 月 25 日	<p>第 170 回理事会</p> <p>1. 議事</p> <p>議案第 1 号 平成 27 年度社会福祉事業会計補正収支予算(案)について</p> <p>議案第 2 号 平成 28 年度社会福祉法人南幌苑事業計画</p>

開催年月日	会 議 内 容
平成 28 年 3 月 25 日	<p>(案)について</p> <p>議案第 3 号 平成 28 年度社会福祉事業会計収支予算(案)について</p> <p>議案第 4 号 社会福祉法人南幌苑 就業規則の一部改正について</p> <p>議案第 5 号 社会福祉法人南幌苑 事業別運営規程の一部改正について</p> <p>議案第 6 号 社会福祉法人南幌苑福祉サービス相談委員及び虐待防止委員の任期満了に伴う委員の選任について</p> <p>議案第 7 号 南幌めぐみ学園体育館外部塗装工事について</p> <p>議案第 8 号 平成 28 年度職員採用及び人事について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>1) 平成 27 年度第 3 回内部監査 (12 月末) の結果報告について</p> <p>2) 空知総合振興局運営指導監査結果について</p> <p>3. その他</p> <p>1) 次期理事会の開催について</p>

2) 評議員会

開催年月日	会 議 内 容
平成 27 年 5 月 26 日	<p>第 34 回評議員会</p> <p>1. 議事</p> <p>議案第 1 号 平成 26 年度法人及び施設事業の経過報告について</p> <p>議案第 2 号 平成 26 年度社会福祉事業会計の決算について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>1) 平成 26 年度第 4 回内部監査 (決算) の結果報告について</p> <p>3. その他</p> <p>1) 次期評議員会の開催日程について</p>
10 月 2 日	<p>第 35 回評議員会</p> <p>1. 議事</p> <p>議案第 1 号 社会福祉法人南幌苑評議員の選任について</p>

開催年月日	会 議 内 容
平成 27 年 10 月 2 日	<p>議案第 2 号 社会福祉法人南幌苑（理事・監事）の選任について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>1) 空知総合振興局運営指導監査について</p> <p>3. その他</p> <p>1) 次期評議員会の開催日程について</p>
平成 28 年 3 月 20 日	<p>第 36 回評議員会</p> <p>1. 議事</p> <p>議案第 1 号 平成 27 年度社会福祉事業会計補正収支予算（案）について</p> <p>議案第 2 号 平成 28 年度事業計画（案）について</p> <p>議案第 3 号 平成 28 年度社会福祉事業会計収支予算（案）について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>1) 平成 27 年度第 3 回内部監査（12 月末）の結果報告について</p> <p>2) 空知総合振興局運営指導監査結果について</p> <p>3. その他</p> <p>1) 次期評議員会の開催日程について</p>

3) 監事監査

開催年月日	会 議 内 容
平成 27 年 5 月 21 日	平成 26 年度第 4 回内部監査（決算）
7 月 21 日	平成 27 年度第 1 回内部監査（6 月末）
10 月 26 日	平成 27 年度第 2 回内部監査（9 月末）
平成 28 年 1 月 20 日	平成 27 年度第 3 回内部監査（12 月末）

4) 空知総合振興局による指導監査

- ・ 監査日時 平成 27 年 9 月 18 日(月)
午前 10 時 00 分～午後 4 時 00 分
- ・ 監査対象 障がい者支援施設南幌めぐみ学園
施設入所・生活介護・就労継続支援 B 型
南幌めぐみ学園 (短期入所)
ハイツひまわり (共同生活援助)

- ・ 監査担当者 保健環境部社会福祉課
事業指導主査 山田 正巳
主任 奥村 美樹

- ・ 監査結果 指摘事項無し

平成27年度 南幌めぐみ学園事業報告

I 概況

1. 運営概況

1) 運営全般

施設サービス新体系移行から4年半が経ち、その間に障害者総合支援法も施行となり、障害者条例に基づく支援体制を推進している。日中活動支援はこれまで通り就労生活支援センター「かよえ〜る」を拠点として利用者の活動範囲を広げ、施設入所支援の生活リズムを整えることが定着してきた。

行事関連においては、ご利用者やご家族・地域ボランティアの参加とご協力を得て、スポーツ大会・学園祭等の行事を実施した。

他に南幌町のイベントや空知福祉協会の各種イベント・大会にも積極的に参加した。めぐみ会との連携では、前年どおり役員会・総会へ総合施設長以下職員・新人職員が出席した。また、合同研修会・懇談会を札幌京王プラザホテルにて開催し（めぐみ会25名・職員11名参加）意見・情報交換ができた。

また道外宿泊旅行は、関西方面へ行き総数27名が参加、さらに道内宿泊研修旅行は洞爺湖温泉洞爺サンパレスに宿泊、総数106名が参加された。その他各行事への多くの参加を通して相互に意見・情報交換することができた。

又めぐみ会からご利用者の生活環境改善にあたるご協力が引き続き行なわれた。

2) ご利用者の動向

①ご利用者の概況 ※ 資料「利用者の状況」参照

II ご利用者支援

1. 障がい者支援サービス

1) 施設入所・通所支援

日中活動としてはご利用者一人ひとりの生活ニーズやライフステージに合わせ、意思決定支援（意向・思い）を含め、個別支援計画に基づいた福祉サービスを提供してきた。

日中活動では「かよえ〜る」を中心に活動範囲を広げ、戸外に出る機会により日々の生活リズムを定着させる事ができた。居室の利用では、年齢や障がいの程度・相性などによる住み分けや地域生活移行（グループホーム他）を目指しての生活支援に取り組んだ。ご利用者個々の支援については個別支援計画にそって定期的にモニタリングをおこない、共通認識のもと、その時々々の状況に合わせた支援を行った。

2) 日中活動支援

生活介護支援事業は、高齢化・重度化の流れの中で自閉症・自閉傾向の障がいの重い人や強度行動障がい（パニック等）・身体障がいとの重複障がいにおいて、リハビリ訓練やストレッチ、ウォーキングなど身体機能維持・体力増進に向けて行なってきた。

生活訓練科は創作活動で和紙工芸や縫製品の制作に取り組み、南幌町内外のイベント、元気ショップいこ〜る（札幌市）にて販売を行った。絵画や貼り絵等の作品は展示会に

出展した。また広教資材（町内）からの下請け作業など軽作業を行ないながら、日常生活に必要な訓練・支援（歯磨き・ひげそり・整容・洗濯・整理整頓等）を個別に取り組んできた。

紙器加工科は通年で下請け業者（ポロトナ、北辰フーズ、ベイクド・アルル）からの箱折り各種・菓子詰めなどの委託作業を行ない、継続してきた。

農産科は前期は畑作業（じゃがいも・ミニトマト・豆類・かぼちゃ等の栽培）と環境整備、また、町からの委託作業のペットボトルのキャップ回収など取り組んできた。収穫した農産物は、食事の中で提供したり、セブンイレブンに出荷・販売をした。

3) 就労継続支援

就労継続支援B型事業は、継続して以前からの長期実習先であるスリービーに4名が自立生活を目指して実習に取り組んだ。さとう自動車工場1名が12月から社会復帰した。

セブンイレブンのごみ分別委託作業には、女子1名が取り組んだ。それぞれに何らかの課題は残るものの「働くこと」を通して、厳しさを学び社会生活能力を養ってきた。

菓子工房もぐもぐは3名が手作りクッキーなどの焼き菓子づくりとコーヒーの宅配サービスを行なった。手作りクッキーは各イベントやセブンイレブンにて販売された。

4) 余暇支援

余暇活動ではご利用者の年齢や身体状況・嗜好やニーズを十分考慮し、南幌町内のイベントや近隣の他施設の行事や催事などに積極的に参加した。

またスポーツ大会では保護者ご家族との交流だけでなく、地域の方々・ボランティアの方々との交流を深めることができた。

園内では、焼肉パーティー・餅つき・忘年会・新年会・節分などの季節の行事を行ない、土日には体育館でゲーム、カラオケなどを楽しんだり、散歩に出掛けたりした。

道外宿泊旅行は関西方面へご利用者13名、ご家族8名、職員6名が参加し、さらに道内宿泊研修旅行は洞爺湖温泉洞爺サンパレスに宿泊、ご利用者53名・ご家族34名・職員19名の106名が参加した。

スポーツ活動では、南幌町福祉スポーツ大会に参加し、ソフトボール・パークゴルフ・卓球等の種目で空知知的協会の大会に参加した。また札幌ドームでのティーボール大会では、8年連続の応援大賞を受賞した。

5) 苦情解決

ご利用者からの苦情は常設の投書箱にて随時受け付けると共に、日常的にも個々のご利用者の訴えをよく聞き、その悩みや相談、抱えている問題に関し職員が共に認識をもつよう努めた。今年度は投書による苦情受付はなかった。

職員には「人権侵害ゼロへの誓い」署名を実施し、虐待防止や権利擁護について、研修会を開催したり、各種会議でも繰り返し周知徹底を図っている。

6) 保健衛生・医療

年2回の健康診断および毎月の身体測定・歯科訪問診療・皮膚科往診・女性は希望に

より乳がん子宮がん検診を実施。日常の健康管理に関しては町立病院や北広島メンタルクリニック主治医（穴澤医師）による問診のほか、看護師が体調確認、個別面談を行った。毎月の身体・血圧測定のほか医師の指示等で定期的なバイタルの測定や排泄確認が必要な方は個々に記録を報告した。高齢化や重度化などの要因に伴い、通院回数は増加している。

今年度もインフルエンザ予防接種を全員が受け、重篤化しないための感染予防に努めた。また、感染症予防対策委員会を随時開催し、園内の清掃消毒、さらに手洗いの励行など予防対策を強化し、毎日欠かさず実施した。ノロウイルス等の食中毒に備えて嘔吐物の緊急処理用具を園内2か所に設置し、嘔吐時の処理の手順を学ぶ講習会を実施した。毎月の生活懇談会でご利用者に医療の指導を行い、病気や健康への配慮を促した。

7) リスクマネジメント

ご利用者の事故については、無断外出があったがすぐ対応して早期に発見保護している。その後は職員の勤務時間を変更するなど見守りの強化を図っている。転倒・ご利用者同士のトラブルによるケガ・破損事故が見られている。転倒事故の要因としては年齢や歩行機能低下によるものである。ご利用者同士のトラブルについては、情緒障がいの特徴である他者への攻撃性に起因するものでありご家族や医師と相談のうえ対応している。破損事故については特定のご利用者に限られているが、その多くはストレスが要因となっていると思われ、人間関係・生活環境の整備を行っている。ヒヤリハットとして報告し予防策や未然に防ぐための会議をその都度行なった。

（平成27年度の空知総合振興局・南幌町への事故報告は 2件）

8) 栄養管理・給食

毎年1回のご利用者嗜好調査（アンケート）のほか、月例の給食会議の中でご利用者・職員から給食に関する意見や要望を聞き、食事満足度の向上のために検食簿などを参考にしながら給食内容の改善に努めた。健康診断・身体計測の結果やご利用者の心身の状況に関する情報を看護師・支援員と共有し、エネルギーコントロール食や嚥下に配慮するなど適切に提供した。毎月の生活懇談会でご利用者に栄養指導を行い、誕生日膳や選択食、季節ごとの行事食も提供してきた。

9) 環境整備・防災

ご利用者が日々快適で安全な生活を送ることが出来るように、修繕や前庭等の整備と居住環境及び周辺的生活環境の整備に努めた。

防災に関しては、「防災計画」に基づいて毎月1回の避難訓練とご利用者と共に防災点検を実施した。春4月と秋10月に南幌消防署員立ち会いで総合避難訓練を実施し、地震想定・夜間想定にも取り組んだ。6月には救命救急講習を行い緊急時対応に備えた。

2. 対外業務

1) 福祉実習生及びボランティアの受け入れ

福祉の専門職として知識や経験を社会へ還元することを目的とし、大学や専門学校を中心に保育・福祉分野の実習生を積極的に受け入れ、次代を担う人材の育成に寄与した。

ボランティアに関しては、定期的訪問・学園行事等を通じて、地域のボランティア団

体、音楽や文化のボランティアサークル、個人の学生ボランティア等の受け入れを継続して行ってきた。

○福祉実習生受け入れ 北海道介護福祉学校 2名
南幌中学校職場体験 2名

○ボランティア受け入れ 延べ人数105名

2) 養護学校実習の受け入れ

学校関係者と連携し、養護学校中学部・高等養護学校の現場実習を受け入れた。

○現場実習生受け入れ 南幌養護学校中学部5名

3) 広報活動

学園の広報誌「南幌めぐみ学園だより」は8月・1月の年2回発行し、町内の地域住民には新聞折り込みにて配布、町外のご利用者ご家族や関係機関にも郵送している。「学園の近況について」を保護者に発送し、学園の取り組み状況のお知らせを行った。

3. 管理業務関連

1) 職員研修

障害者総合支援法関係の研修会や行政説明に役職員が参加し、情報収集に努めた。その他、職員の経験年数や職務内容を考慮し、北海道社会福祉協議会や道内外の知的障がい関係団体が開催する研修会や支援の実践に関する研修に参加し、援助技術や知識の習得と情報の収集に努めた。

※資料「事業実施経過」参照

2) 年間行事

概ね例年通りの日程内容で行事を実施した。

※資料「事業実施経過」参照

Ⅲ その他の事業報告

1. 短期入所事業・日中一時支援事業

1) 概況

在宅の知的障がい児・者の地域生活を支えるサービスとして、短期入所事業と日中一時支援事業を継続して行った。

2) 利用状況

短期入所利用は他に2～3泊の定期利用が5名いた。

日中一時支援利用については児童の低年齢化・障がいの重度化などによりマンツーマン対応による支援を行ってきた。職員配置の面では厳しい状況もあり社会的責任という視点から継続して受け入れてきた。

※資料「短期入所・日中一時支援利用状況表」参照

平成27年度 GHハイツひまわり 事業報告

プライバシーの尊重と自由時間の確保、一人ひとりの生活リズムに合わせながら、多様なニーズに対応していけるよう世話人と協力しながら支援体制を整えることができた。

また町内会行事にも積極的に参加され町内の方々と交流を図ることができていた。

○家事への取り組み

週末（土・日）の食事は当番を決め、自分たちでメニューを考案、調理されていた。急な用事で当番を交代しなければならない場面もあったが他のメンバーが交代を快く引き受けてくれたためトラブルごとは一切みられなかった。またメニューのバリエーションも少しずつ増えており夏場には自分たちの畑で収穫した新鮮野菜を使い食事の献立の中に取り入れた。

誕生日などは誕生者本人の好みのメニューを献立に取り入れてもらい、時々外食や宅配なども楽しんでいた。

○清掃

共同スペースの当番はみんなで話し合っ決めてスムーズに行うことが出来ており世話人には清掃の再確認と不十分なところの清掃を一緒におこなってもらっている。

自室の清掃は基本毎日おこなうこととなっているが週に一度清掃日を設け、出来る部分は自分で清掃。清掃が苦手なご利用者は世話人と一緒に取り組み清潔を心がけた。

○対人関係

お互いを知り、慣れてくることによって仲間への不満や指摘事は多くなってくるものであり職員がいる時といない時で態度が異なる場面は時々見られていた。

親しくなってきたゆえに甘えやわがままもでてきており、互いの性質や性格を理解していけるよう働きかけつつ、みんなの意見を聞く等話し合いの機会を設けた。

また時々職員同行のもと買い物・カラオケ・外食などで気分転換を図り、親睦を深めることができていた。

○地域活動への参加と関わり

隣人の方々と挨拶を交わし、町内会の花壇整備など活動には積極的に参加し、地域の方々と顔を合わせ交流を図ることができた。楽しみの一つになっていたようだ。

冬の除雪時期は声を掛け合いながら取り組んでいた。

○健康管理

体調管理をしっかりおこなうよう努めていたが季節の変わり目や疲労がたまってくると体調を崩す利用者がみられていた。年齢的に無理のできない体になりつつあるため食事と休息はしっかりとるよう努め、規則正しい生活を送るよう働きかけた。

外出後は必ず手洗いうがいを行ない外部から病気を持ち込まないように働きかけていたため早期予防、早期通院で対応できていた。

今年度新たに栄養相談を取り入れ嗜好品についてのお話があり再度、食生活の見直しができるきっかけとなった。次年度も年に数回の栄養相談を組み込んで行く予定となっている。

○避難訓練

今年度は3回の避難訓練（地震想定を含め）をおこない通報訓練と避難場所の再確認をしている。

1. 職員体制

管理者 1名（兼務） サービス管理責任者 1名（兼務）
 世話人 1名（専任） 生活支援員 3名（兼務）
 ※ その他、バックアップ施設職員にて、随時支援を行った。

2. バックアップ施設

障がい者支援施設南幌めぐみ学園

3. 利用者（定員5名）

平成28年3月31日

氏名	市町村	性別	年齢	区分
Aさん	岩見沢市	女	49歳	3
Bさん	江別市	女	62歳	3
Cさん	長沼町	女	41歳	2
Dさん	当麻町	女	47歳	2
Eさん	小樽市	女	46歳	3

4. 行事实施状況

開催年月日	主たる事業の内容
平成27年 4月 8日 ～11日	道外宿泊研修旅行（京都・大阪方面） 5名参加
4月 22日	定期健康診断
5月 9日	町内会 春の一斉清掃 3名参加
6月 2日	花見 焼き肉（めぐみ学園前庭にて）
21日	空知知的しょうがい福祉協会ソフトボール大会（月形町） 選手1名 応援4名参加
28日	ハイツひまわり 避難訓練実施（地震想定）
7月 5日	めぐみ学園スポーツ大会（めぐみ学園かよえ～るグラウンドにて）
8月 9日	町内会 夏祭り 4名参加
9月 6日	空知知的しょうがい福祉協会パークゴルフ大会（岩見沢市） 2名参加
14～15日	道内宿泊研修旅行（登別方面） 5名参加
27日	めぐみ学園 学園祭（めぐみ学園体育館にて）
10月 22日	栄養相談（栄養士）
24日	町内会 花壇後片付け 2名参加

開催年月日	主たる事業の内容
10月 25日	空知知的しょうがい福祉協会卓球大会（月形町） 1名参加
	31日 ハイツひまわり 避難訓練実施（地震想定）
11月 9日	定期健康診断
12月 7日	ティーボール北の甲子園大会（札幌ドーム） 5名参加
	17日 忘年会（めぐみ学園にて）
	25日 ハイツひまわり クリスマス会
平成28年	
1月 17日	新年会 めぐみ学園にて 5名参加
	3月 27日 ハイツひまわり 避難訓練実施

資 料

1. 事業実施経過
2. 職員の配置
3. 利用者の状況
 - (1) 月別在籍者状況
 - (2) 入退所者状況
 - (3) 利用者年齢調
 - (4) 利用期間調
 - (5) 利用者出身市町村調
 - (6) 障害状況
 - (7) 面会状況
 - (8) 外出状況
 - (9) 外泊状況
4. 短期入所・日中一時支援
 - (1) 短期入所利用状況
 - (2) 日中一時支援利用状況
 - (3) 短期入所・日中一時支援利用者市町村調

1. 事業実施経過

開催年月日	主たる事業の内容
平成 27 年	
4 月 1 日	開園記念日
8～11 日	道外研修旅行 大阪方面
	利用者 13 名 家族 8 名 職員 6 名 計 27 名
16 日	福祉有償運送講習 職員 6 名
22 日	環境整備 園外清掃（かよえーる周辺、道路）
	第 1 回健康診断 利用者、職員
	南幌消防査察 南幌消防署員 2 名
25 日	施設内研修 虐待及び権利擁護について 全職員
28 日	空知知的障がい福祉協会理事会 岩見沢市 職員 1 名
5 月 1 日	日帰り社会学習 北海道グリーンランド 岩見沢市
	利用者 45 名 職員 20 名
6 日	めぐみ会総会
8 日	安全運転管理者協会南幌支部総会 職員 1 名
	「かよえーる」屋根塗装工事着工 職員 1 名
12 日	安全運転管理者法定講習 栗山町 職員 1 名
12～13 日	新人職員マナー研修 札幌市 職員 1 名
14 日	前庭環境整備着工
16 日	日本ハム福祉シート観戦（札幌ドーム） 利用者 3 名 職員 1 名
16～17 日	日本ソーシャルワーカー協会年次大会 総会・研修会
	札幌市 職員 5 名
19～20 日	北海道知的障がい福祉協会 総会・全道施設長セミナー
	札幌市 職員 1 名
6 月 2 日	花見焼肉パーティー
4～5 日	施設長実学講座・補助財団申請打合せ 東京都 職員 2 名
9 日	救急救命講習会 体育館 消防署員 2 名 職員 20 名
10～11 日	北海道社会就労センター施設長職員研修会 札幌市 職員 1 名

開催年月日		主たる事業の内容
6月	16日	職員共済会通常総会 札幌市 職員1名
	17日	職員共済会接遇研修 札幌市 職員1名
	21日	空知ソフトボール大会 月形町 利用者19名 職員7名
	23日	空知知的障がい福祉協会職員研修会 深川市 職員3名
	27日	リスクマネジメント研修 体育館 全職員
	29～1日	全国施設長会議 東京都 職員1名
7月	1日	北海道介護福祉学校実習2名 ～8日
	4日	滝川ほほえみ工房 滝川市 職員2名
	5日	第28回スポーツ大会 かよえーるグラウンド
	13～14日	北海道福施設士会総会・研修会 札幌市 職員1名
	15～16日	北海道知的障がい関係支援員研修Ⅰ 札幌市 職員1名
	26日	第6区「区民の集い」参加
	29日	権利擁護セミナー 札幌市 職員1名
	8月	5日
7日		施設職員スキルアップ講座 札幌市 職員1名
20～21日		専門職キャリアアップ研修 札幌市 職員1名
23日		岩見沢清丘園祭出店販売 岩見沢市 利用者2名 職員3名
25日		南幌町福祉スポーツ大会
27日		北海道社会福祉大会（北町福祉部会学園推薦）札幌市 表彰団体1名 職員1名
29～30日		全道施設職員野球大会 旭川市 職員2名
9月		6日
	8～11日	南幌養護学校中学部現場実習 実習生4名
	9～11日	日中活動支援部会施設長等研究会議 千葉県 職員1名

開催年月日	主たる事業の内容
9月 14～15日	道内宿泊研修旅行 洞爺方面 家族 34名 利用者 53名 職員 19名 計 106名
15日	南幌町秋祭り
26日	雪の聖母園祭出店 月形町 利用者 1名 職員 3名
27日	第 28 回南幌めぐみ学園祭
29～30日	北海道社会就労センター協議会研修会 札幌市 職員 1名
	北海道社会福祉協議会キャリアアップ研修 札幌市 職員 1名
10月 9/30～1日	北海道社会福祉協議会看護師専門研修 札幌市 職員 1名
9/30～2日	南幌中学校職場体験学習 実習生 2名
6日	人事管理研修 札幌市 職員 1名
6～7日	全道知的障がい関係職員研究大会 札幌市 職員 1名
9～11日	第 7 回 A C T 全国研修帯広大会 帯広市 職員 1名
10日	空知物産展 砂川市 利用者 2名 職員 4名
11日	ボランティアフェスタなんぼろ 利用者 1名 職員 2名
	空知職員野球大会 職員 3名
14～16日	全国知的障がい福祉関係研究大会 高知県 職員 1名
14日	メンタルヘルス研修 札幌市 職員 1名
25日	空知卓球南大会 月形町 利用者 6名 職員 5名
	キラキラマーケット 利用者 1名 職員 2名
28～29日	権利擁護伝達合同宿泊研修会 沼田町 職員 1名
11月 3日	赤い羽根ティールボール北の甲子園大会 札幌市 利用者 19名 職員 8名 家族 13名
6日	施設入所支援部会研修会 札幌市 職員 4名

開催年月日	主たる事業の内容
11月 9日	退職共済制度実務研修会 札幌市 職員2名
	施設内研修 感染症予防対策研修会 職員10名
10～11日	施設相談員専門研修B 札幌市 職員1名
11日	施設内研修 感染症予防対策研修会 職員10名
12日	地域支援スタッフ研修会 札幌市 職員2名
13日	施設内研修 感染症予防対策研修会 職員10名
	インフルエンザ予防接種 利用者、職員
14日	南幌養護学校学校祭販売 利用者2名 職員2名
16～17日	北海道施設士協会研修 札幌市 職員1名
18日	防災担当者ミーティング 北村 職員1名
19～20日	栄養士専門研修 札幌市 職員1名
	日中活動支援部会研修会 札幌市 職員1名
20日	ふらっと研修会 岩見沢市 職員1名
	社会福祉施設経理実務研修会 札幌市 職員2名
21日	栄養士・調理員従事者研修 新十津川町 職員1名
22日	めぐみ会・職員合同研修会 札幌市 講師2名 家族14名 職員11名
26日	知連協 美唄市 職員1名
27日	インフルエンザ予防接種 利用者、職員
28日	白樺高等養護学校50周年記念式典 札幌市 職員1名
	町歌を歌う合唱の会慰問 体育館
12月 3～4日	空知知的障がい福祉協会 新任職員研修会 南幌町 職員4名

開催年月日		主たる事業の内容
12月	4日	空知知的障がい福祉協会理事会 岩見沢市 職員1名
	5日	もちつき 体育館
	11日	空知総合振興局集団指導 岩見沢市 職員1名
	12日	就労支援部会研修 札幌市 職員1名
	17日	忘年会 体育館
	18日	権利擁護セミナー 伊達市 職員1名
平成28年		
1月	1日	初詣 南幌神社
	15日	成人祝い・新年会 体育館
	17日	障がい者差別解消法研修会 恵庭市 職員1名
	21日	社会就労センター長研修会 札幌市 職員1名
	26日	安全運転管理者研修会 栗山町 職員1名
	26～27日	幹部職員研修会 札幌市 職員1名
	27～28日	障がい者支援施設部会全国大会 岐阜県 職員1名
	2月	4～5日
14日		災害対策研修会 奈井江町 職員1名
17～18日		相談支援従事者研修会 札幌市 職員1名
18日		社会福祉法人経営実務セミナー 札幌市 職員1名
23日		南幌町要保護対策地域協議会 あいくる 職員1名
25日		北海道知的障がい福祉協会発達支援部会研修会 札幌市 職員1名
3月	6～7日	強度行動障がい支援者養成研修会 札幌市 職員1名
	8～9日	北海道障がい者虐待防止・権利擁護研修 札幌市 職員2名
	9～10日	北海道社会就労センター協議会総会・研修会 札幌市 職員1名
	11～12日	空知知的障がい福祉協会 宿泊幹事会 美唄市 職員1名

開催年月日	主たる事業の内容
3月 14～15日	北海道知的障がい福祉協会 全道施設長研修会 札幌市 職員1名
17日	園内レクリエーション
28～29日	空知知的障がい福祉協会臨時総会 美唄市 職員1名
毎月 実施事業	生活懇談会 買物実習 調理実習 身体測定 血圧測定 北広島メンタルクリニック医師問診 歯科ブラッシング指導 職員会議 支援員会議 給食会議 避難訓練 防災点検 お花指導 茶道指導 各種スポーツ指導 日赤奉仕団・ボランティアとの交流

2. 職員の配置

平成28年3月31日

職名	常勤職員	非常勤職員	計
施設長	1		1
事務員	3		3
サービス管理責任者	2		2
支援員	20	3	23
世話人	1		1
看護師	1		1
栄養士	1		1
医師		1	1
計	29	4	33

4. 利用者の状況

(1) 月別在籍者状況

月別 区分	27年												28年			合 計 (人)
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
初日 在籍者	入所	51	51	51	51	51	51	51	50	50	50	50	49	606		
	通所	15	15	15	15	15	15	15	15	14	14	14	14	176		
入 所 者	入所	1												1		
	通所													0		
退 所 者	入所							1				1	2			
	通所								1				1			

(2) 入退所者状況

新規入所者数	退 所 者 数						
	社 会 復 帰	帰 宅	長 期 入 院	施 設 替 え	死 亡	そ の 他	合 計
入 所			1	1			2
通 所						1	1

(5) 利用者出身市町村調

平成 28 年 3 月 31 日現在

市 町 村	入 所			通 所		
	男	女	計	男	女	計
札幌市 東区	1	1	2			
札幌市中央区		1	1			
札幌市厚別区	1		1			
札幌市 北区	1		1			
札幌市白石区		1	1			
札幌市清田区		1	1			
札幌市豊平区	1		1			
北 広 島 市	3	3	6			
江 別 市	4	4	8	1	1	2
小 樽 市		2	2		1	1
夕 張 市		1	1			
網 走 市		1	1			
北 見 市	1	1	2			
岩 見 沢 市	1	1	2	1	3	4
南 幌 町	8		8	2	2	4
栗 山 町		2	2	1		1
長 沼 町	1		1		1	1
新 篠 津 村	1		1			
妹 背 牛 町	1		1			
愛 別 町	1		1			
岩 内 町	1		1			
余 市 町		1	1			
苫 前 町	1		1			
釧 路 町		1	1			
平 取 町		1	1			
当 麻 町					1	1
計	27	22	49	5	9	14

(6) 障害状況調

平成 28 年 3 月 31 日現在

☆ 疾患状況

障害疾患名	入所			通所		
	男	女	計	男	女	計
聴力障害	1		1			
視力障害	2		1			
四肢・体幹機能障害	2	3	5	1	2	3
言語障害	4	3	7			
てんかん	7	6	13	3	4	7
精神科疾患・統合失調症	6	8	14		1	1
高血圧	2	2	4	1	1	2
低血圧	1		1			
糖尿病	1		2	1		1
骨疾患	1	3	4			
腎臓疾患	1	1	3	1		1
肝臓疾患	2	1	3			
心臓疾患	2		2			
甲状腺疾患		2	2			
皮膚疾患	12	11	33		2	2
パーキンソン症候群						
自閉症（傾向）	11	5	16	4	2	6
ダウン症	3	3	6	1	1	2

☆ 知能指数

知能指数(程度)	入所			通所		
	男	女	計	男	女	計
測定不能(全介助を必要)	1	1	2	1	1	2
I Q 3 5 以下(常時介助を必要)	21	12	33	3	1	4
I Q 3 6 ~ 4 9 (介助指導を必要)	2	8	10		3	3
I Q 5 0 以上(一部介助指導必要)	3	1	4	1	4	5
計	27	22	49	6	8	14

(7) 面 会 状 況

南幌めぐみ学園

回 数	男	女	合 計
5 回 以 上	0 人	2 人	2 人
4 回	0 人	0 人	0 人
3 回	1 人	0 人	1 人
2 回	24 人	16 人	40 人
1 回	0 人	0 人	0 人
面 会 な し	3 人	5 人	8 人
計	28 人	23 人	51 人

ハイツひまわり

回 数	男	女	合 計
5 回 以 上	0 人	1 人	1 人
4 回	0 人	0 人	0 人
3 回	0 人	0 人	0 人
2 回	0 人	0 人	0 人
1 回	0 人	2 人	2 人
面 会 な し	0 人	2 人	2 人
計	0 人	5 人	5 人

(8) 外出状況

南幌めぐみ学園

回数	男	女	合計
30回以上	1人	0人	1人
20～29回	0人	2人	2人
10～19回	2人	12人	14人
5～9回	25人	9人	34人
1～4回	0人	0人	0人
なし	0人	0人	0人
計	28人	23人	51人

ハイツひまわり

回数	男	女	合計
30回以上	0人	2人	2人
20～29回	0人	1人	1人
10～19回	0人	1人	1人
5～9回	0人	1人	1人
1～4回	0人	1人	1人
なし	0人	0人	0人
計	0人	5人	5人

(9) 外泊状況調

☆ 外泊回数

南幌めぐみ学園

回 数	男	女	合 計
30 回 以 上	3 人	人	3 人
20 ~ 29 回	5 人	人	5 人
10 ~ 19 回	5 人	4 人	9 人
5 ~ 9 回	5 人	6 人	11 人
1 ~ 4 回	6 人	7 人	13 人
な し	5 人	7 人	12 人
計	29 人	24 人	53 人

※ 最高外泊回数 46回

ハイツひまわり

回 数	男	女	合 計
30 回 以 上	0 人	0 人	0 人
20 ~ 29 回	0 人	0 人	0 人
10 ~ 19 回	0 人	1 人	1 人
5 ~ 9 回	0 人	2 人	2 人
1 ~ 4 回	0 人	1 人	1 人
な し	0 人	1 人	1 人
計	0 人	5 人	5 人

※ 最高外泊回数 10回

☆ 外泊期間

南幌めぐみ学園

日 数	男	女	合 計
4 1 日 以 上	1 1 人	7 人	1 8 人
3 1 日 ~ 4 0 日	3 人	0 人	3 人
2 1 日 ~ 3 0 日	6 人	3 人	9 人
1 1 日 ~ 2 0 日	2 人	5 人	7 人
1 日 ~ 1 0 日	1 人	3 人	4 人
な し	5 人	5 人	1 0 人
計	2 8 人	2 3 人	5 1 人

※ 合計宿泊数 1, 6 6 3 日 中日日数 8 8 3 日

ハイツひまわり

日 数	男	女	合 計
4 1 日 以 上	0 人	0 人	0 人
3 1 日 ~ 4 0 日	0 人	1 人	1 人
2 1 日 ~ 3 0 日	0 人	0 人	0 人
1 1 日 ~ 2 0 日	0 人	2 人	2 人
1 日 ~ 1 0 日	0 人	1 人	1 人
な し	0 人	1 人	1 人
計	0 人	5 人	5 人

☆ 入院による外泊

南幌めぐみ学園

男性	A (男)	B (男)	C (男)	D (男)	計
入院回数	3 回	1 回	1 回	2 回	7 回
入院日数	2 3 日	4 日	9 日	5 4 日	9 0 日
主 病	急性肺炎 2 回 腸炎 1 回	腸閉塞	腸閉塞	ヒステリー 腸閉塞	

女性	A (女)	B (女)	C (女)	D (女)	計
入院回数	1 回	1 回	1 回	2 回	5 回
入院日数	1 4 日	9 日	2 日	5 2 日	7 7 日
主 病	悪性黒色腫	肺炎	大腸検査	精神科 服薬調整	

5. 短期入所・日中一時支援

(1) 短期入所利用状況

	27年										28年			合 計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
実人員	8 (5)	10 (7)	7 (7)	8 (8)	8 (9)	8 (8)	7 (7)	7 (9)	7 (8)	5 (7)	6 (7)	7 (10)	13 (12)	
延日数	72 (20)	82 (42)	70 (34)	69 (31)	66 (30)	69 (26)	72 (39)	69 (36)	60 (28)	63 (15)	52 (21)	69 (29)	813 (351)	

※ 下段 () は昨年度実績

(2) 日中一時支援利用状況

	27年										28年			合 計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
実人員	6 (8)	9 (6)	11 (7)	9 (8)	14 (8)	8 (8)	10 (9)	10 (9)	8 (8)	8 (4)	8 (7)	7 (6)	12 (10)	
延日数	45 (53)	46 (50)	50 (54)	50 (41)	63 (48)	52 (53)	59 (62)	52 (65)	45 (41)	46 (34)	53 (45)	49 (52)	610 (598)	

※ 下段 () は昨年度実績

(3) 短期入所・日中一時支援利用者市町村調

区 分	市 町 村								合 計
	岩見沢	江別市	南幌町	栗山町	北広島	千歳市	豊平区	札幌市	
短期入所	3 (4)	4 (5)	1 (2)	1 (1)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	13 (12)	
日中一時支援	5 (2)	2 (6)	2 (1)	0 (0)	1 (0)	2 (1)		12 (10)	
実 人 員	8 (6)	6 (11)	4 (3)	1 (1)	2 (0)	2 (1)		25 (22)	

※ 下段 () は昨年度実績

